

2011年5月25日

[お知らせ]

フッ素樹脂「フルオン® E T F E」のグローバルな生産能力を50%増強

旭硝子株式会社
化学品カンパニー 事業統括本部
フッ素化学品事業部

AGC化学品カンパニー（以下AGC）は、主に電線被覆材やフィルム原料として使われるフッ素樹脂「フルオン® E T F E^(注1)」の生産能力を50%増強することを決定しました。当社鹿島工場（茨城県神栖市）に約30億円を投じて生産設備を増設し、2012年第3四半期に生産を開始する予定です。今回の生産能力増強により、E T F Eの旺盛な需要に対応し、2015年に売上高380億円を目指します。

「フルオン® E T F E」はAGCが1975年に世界で初めて商業生産を開始した高機能フッ素樹脂です。この製品は、①熱可塑性のため成形加工が容易である ②耐薬品性に優れている ③極めて高い電気絶縁性を持っている ④紫外線に強く10年以上の屋外使用に耐えうる、などの特徴を持ち、自動車や太陽電池等の部材に広く用いられています。^(注2)

近年、BRICsなどの新興市場を中心とした世界的な自動車生産台数の増加により、E T F Eの主用途である自動車用電線被覆材向けの需要が堅調です。さらに、欧州や中国市場において太陽電池向けバックシートなどの需要も急速に高まっていることもあり、E T F Eの市場は年率15%で拡大しています。

現在、AGCは千葉、鹿島及び英国ランカシャー州の生産拠点で構成されるグローバルな製造・販売体制により、世界のE T F E需要のおよそ60%を供給しています。今回の増設により、グループ全体のE T F E生産能力は現状の50%増となり、拡大を続ける市場のニーズに積極的に応えていきます。

(注1) E T F E (E t h y l e n e - T e t r a F l u o r o E t h y l e n e) :

エチレン (C₂H₄) とテトラフルオロエチレン (C₂F₄) の共重合体。

(注2) E T F Eの用途例:

- 自動車・航空機・ロボットなどに使用される電線の被覆材や液体輸送チューブ
- 半導体・LCD関連の製造工程用部品
- 太陽電池バックシート・農業用ハウス・膜構造建築物に使用するフィルム

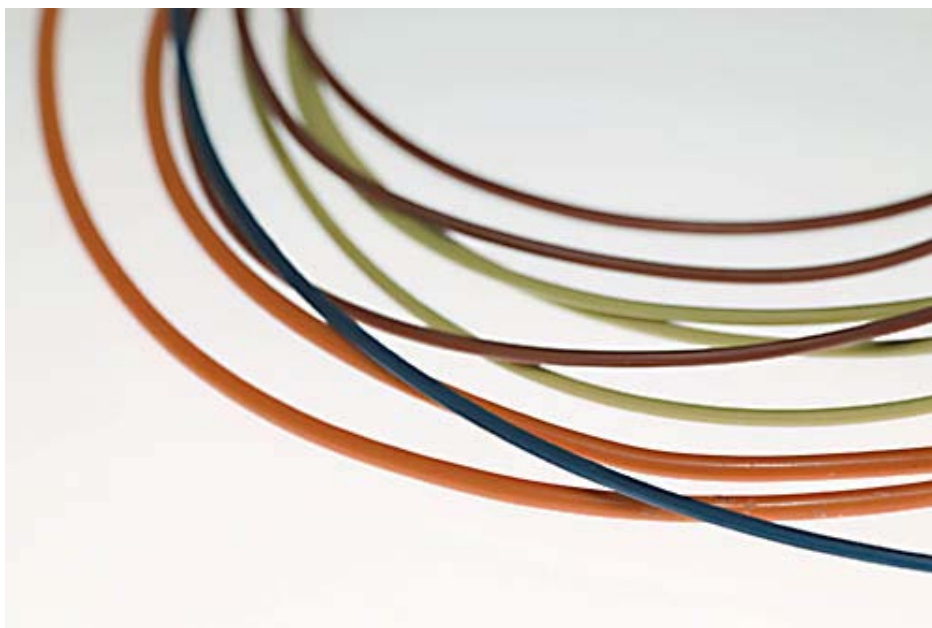
以上

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子(株) 化学品カンパニー 事業統括本部 フッ素化学品事業部
(担当：伊藤、永井 TEL:03-3218-5496、Email: info-fluon@agc.com)

<ご参考>

【電線被覆材】



【太陽電池用フィルム】

